

1 国語に関する調査

【特長】

- 聞き手の求めていることに応じて、集めた材料をどのように整理すればよいかを考え、相手が知りたいことを取り入れて、優先して伝えることを明確にすることが概ねできている。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、思考をまとめることが概ねできている。

【課題】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。自分の考えを伝える場面で、集めた材料を分類したり関係づけたりする活動や、伝え合うことを通して、聞き手にとって、その表現の工夫が効果的であるかどうかを判断する活動を設定する必要がある。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。配当されている漢字を書く活動を通して、身に付けた力を活用する場面を設定する必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- 立体を見取図で表すことや、角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することが概ねできている。
- 円グラフの一目盛りの大きさを正しく捉え、目盛りを数えたり読んだりすることや、簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することが概ねできている。

【課題】

- 図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えることに課題がある。図形の学習では、図形の構成の仕方や図形の性質について筋道を立てて考えることで、実感を伴いながら図形についての理解を深める必要がある。
- 日常の具体的な場面に対応させながら、速さなど単位量当たりの大きさについて考察する方法を工夫したり、理解したりすることに課題がある。日常生活で出会う様々な問題を解決するために、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を日常生活に生かすことが必要である。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答している児童が多かった。
- ・学習の中で、ICT機器を活用することを通して、「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」と回答している児童が多かった。

【課題】

- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童が少なかった。担任やその他の教職員、スクールカウンセラーなどに、安心して相談できる環境づくりに努めたい。
- ・「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した児童が少なかった。学んだことを実生活に結びつけたり、次の学習に生かしたりする視点で振り返ることを通して、学んだことの広がりや継続性を実感させるように努めたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・教科の学習では、日常の具体的な場面と関わらせながら学び、身に付けた資質・能力が日常生活や教科を超えて活用・発揮できるようにする。
- ・自分で学び方を考え工夫できるように、様々な学び方から自己選択・自己決定する場面を設定するとともに、それらを家庭学習でも活用できるよう促す。
- ・ICT機器を活用することを通して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができたり、友達と考えを共有したり比べたりできるような活動を増やす。
- ・学校教育目標である「一人ひとりの力が発揮される学校」「お互いのチャレンジを支え合える学校」を目指し、子どもたちと教職員が自分も他者も大切にできるようにする。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・家庭学習や読書について、お子さんが自分で学習の計画を立て取り組んだり、読書に親しんだりすることができるよう、ご協力をお願いします。
- ・本校の重点目標を「あいさつでつながろう、やさしい言葉で支え合おう」としています。学校、家庭、地域であいさつや、やさしい言葉を広げるとともに、困りごとや不安を抱えた際に、相談できる雰囲気づくりをして、安心して過ごせるよう、ご協力をお願いします。
- ・子どもたちは、地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えています。地域、家庭、学校の結びつきが深められるよう、引き続き、ご協力をお願いします。